

# W I N G E S S A Y

DENTAL WING Co.,LTD

—2018年7月—

☆今年も半分を消化することになりました。近年、春と秋が短くなっているようで、夏の猛暑と冬の厳しさが一段と増しているような季節感があります。梅雨時期、過ごしにくいものですが、私たちが生きて行くうえで避けられない大切な雨でもあります。感謝しながら生活したいものです。

☆大阪地方での震度 6 弱の地震。被災された皆様方には心よりお見舞い申し上げます。亡くなられた方も数名おられ、予期せぬ自然災害ではありますが、本当に残念でなりません。

殊に、小学 4 年生の女子児童のニュースは何とも心が痛んでなりません。ご本人の無念さと、ご両親のお気持ちを思うに言葉もありません。心よりご冥福をお祈り申し上げます。

幼い子供たちの命が奪われるニュースは減ることがありません。虐待含めて、どうしてこのような事件が後を絶たないのでしょうか。大人としての人間性を疑うしかありません。

私が 20 代前半に読んだ本の中に、忘れられない言葉があります。それは、アイヌ地方の産婆さんが言われた「赤ちゃんは、みんな喜んで産まれてきます」という言葉です。どんな赤ちゃんも、みんな喜んで産まれてきています。そして、みんなに喜ばれて色々な方のお世話になりながら、大きくなっていきます。そして、最後はやはり色々な方のお世話になりながら命を終えていきます。こう考えますと、いいことも、そうでないことも人生には付きものですが、人のお世話にならずに生きることは不可能である以上、「ありがとうございます」の連続ということになります。

これからの時代、少子化は避けられない問題です。一人でも多くこの世に喜んで産まれてきていただきたいものですが、まずは子供たちを大切にすること、これに尽きると思います。

助産師の内田美智子先生の著書に「こころ 食卓から始まる生教育」があります。既に絶版になっているようですが、感銘を受けた名著です。一部紹介させていただきます。

\*\*\*\*\*  
人は愛されて人になります。こどもたちにとって愛されること、食べる事がどんなに大事であるか。思春期のこどもたちが起こす問題は、思春期に起こることではなく、乳幼児から始まっている。思春期にサインを出しているだけである。大人がすべきことは一つです。こどもたちが生きるための権利を保障すること。こどもたちが生きるための権利とは、「食べて、寝て、遊んで、愛されること」です。他にもあるでしょう。少なくとも、食べて、寝て、遊んで、愛されることは最低限の権利です。大人は、この権利を保障しなければなりません。こどもは、この権利を放棄したりしません。奪うのは大人です。

こどもは、親に、そして周りの大人たちに愛されたいと願っています。だから、こどもは親、大人たちの態度をずっと見ている。こどもは周りの大人にいつも気を遣いながら生きています。だから、こどもたちはちょっとした大人の言葉や態度ですごく傷つきます。ほんの一瞬の何気ない言葉です。人は愛されて人になります。

\*\*\*\*\*  
いい言葉ですね。私なんて、飲んで、食べて、寝て、仕事(出来ていないかも知れませんが...)しての毎日。反省してこれからも頑張ります！今後とも宜しく願い申し上げます。